

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項を「注意」として表記してあります。



注意

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

●お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。



⚠ 気をつけていただく内容です。



⊘ してはいけない内容です。



Ⓜ 実行しなければならない内容です。

■施工上のご注意



注意



無断で修理・改造等したことにより生じた事故については、一切責任を負いません。また、ブレーカ組替え時の品質についても一切責任を負いません。

本製品は弊社製ブレーカ専用です。弊社以外のブレーカを取付けて使用しないでください。異常発熱、発火などの原因となります。



高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に設置しないでください。感電、火災や動作しないおそれがあります。

母線への取付け・取外しの際、プラグイン端子を変形させないでください。発熱、火災のおそれがあります。



電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。

配線作業は、上位ブレーカを「OFF」にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。

ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物および雨水などが製品内部に入らないように施工してください。火災や動作しないおそれがあります。

i plug接触子にごみ、埃などの異物が付着している場合は、異物を取除いてから母線に取付けてください。異常発熱、発火などの原因となります。

i plug接触子の変形していないか、アーク痕などが無いか確認してください。発熱、火災のおそれがあります。

組替えるブレーカの電源側、負荷側を確認してからi plugと接続してください。感電、火災のおそれがあります。また、i plugとの接続をブレーカの負荷側で行うと逆接状態となることがあります。

ブレーカとi plugを取付ける際、下記の表に従って確実に締付けてください。火災の原因となります。

標準締付トルク一覧表

		締付トルク N・m	
ブレーカ	端子ねじ	M5	3.0 ~ 3.5
		M6	4.0 ~ 5.0
		M8 (150AF 以下)	6.0 ~ 7.5
	取付ねじ	M8 (225AF 以上)	8.0 ~ 13.0
		M4 (250AF 以下)	1.3 ~ 2.5
		M6 (400AF)	4.0 ~ 5.0
端子台	端子ねじ	M3	0.8 ~ 1.2
		M6	4.0 ~ 5.0
	取付ねじ	M8	8.0 ~ 13.0
		M10 (ナット)	15.0 ~ 25.0
		M4	1.3 ~ 2.5

■機種

プラグインユニット付ブレーカ

形式	適用ブレーカ	形式	適用ブレーカ
NE52CPL/PH	NE52C,62C GE52C,62C	NE53APL/PH	NE53A,63A GE53A,63A
NE62CPL/PH			
GE52CPL/PH			
GE62CPL/PH			
NE102CAPL/PH	NE102CA GE102CA	NE102APL/PH	NE102A
GE102CAPL/PH		GE102APL/PH	GE102A,152A
NE53CPL/PH	NE53C,63C NE53M GE53C,63C	NE103APL/PH	NE103A,153A GE103A,153A
NE63CPL/PH			
NE53MPL/PH			
GE53CPL/PH			
NE103CAPL/PH	NE103CA GE103CA	NE222PL/PH	NE222,252
GE103CAPL/PH		NE252PL/PH	
NE52APL/PH	NE52A,62A	NE223PL/PH	NE223,253 GE223,253
NE62APL/PH			
GE52APL/PH	GE52A,62A	NE253PL/PH	
GE62APL/PH			
		NE402APH	NE402A
		NE403APH	NE403A
		GE403APH	GE403A

プラグインユニット付ブレーカ 端子台搭載

形式	適用ブレーカ	端子台
NE53CPLTB/PHTB	NE53C	TBF-063JK
NE63CPLTB/PHTB	NE63C	
GE53CPLTB/PHTB	GE53C	
NE53APLTB/PHTB	NE53A	TBF-063J
NE63APLTB/PHTB	NE63A	
GE53APLTB/PHTB	GE53A	
NE103APLTB/PHTB	NE103A	TBF-153J
NE153APLTB/PHTB	NE153A	
GE103APLTB/PHTB	GE103A	
NE153APLTB/PHTB	NE153A	TBF-253J
GE153APLTB/PHTB	GE153A	
NE223PLTB/PHTB	NE223	
NE253PLTB/PHTB	NE253	
GE223PLTB/PHTB	GE223	
GE253PLTB/PHTB	GE253	

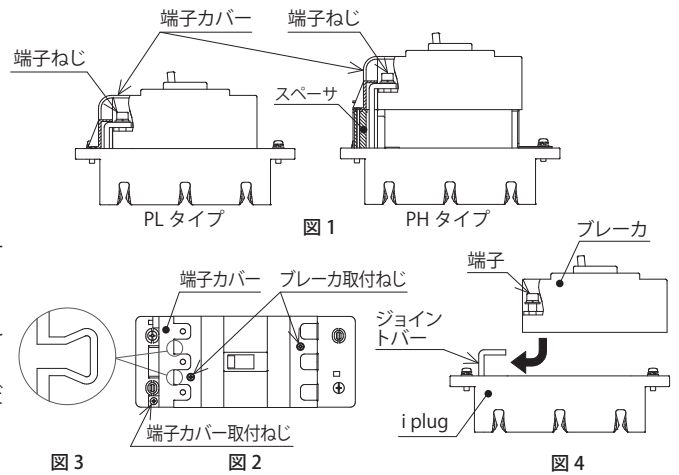
■グリスについて

i plug 接触子のグリスが取付ける前に蒸発・変質した場合は、次のグリスを適量塗布してください。メーカー：Electrolube 品番：2GX
※グリスは塵埃・腐食性ガスなどの異常環境によって蒸発・変質することがあります。

■組替手順

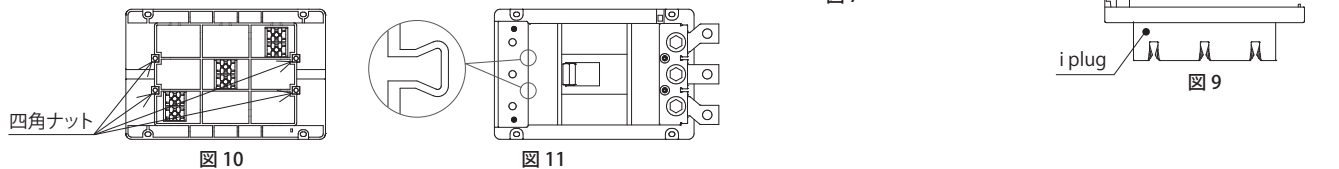
●250AF 以下

- ①端子カバー取付ねじを外し、端子カバーおよびスペーサ（PH タイプのみ）を取外してください。（図 1・2）
- ②ブレーカの端子ねじおよび取付ねじを外します。（図 1・2）
- ③組替えたいブレーカの端子を i plug のジョイントバーに差込んでください。（図 4）
- ④ブレーカ取付ねじ（2カ所）を標準締付トルク一覧表（P.1）の値で締付けてください。（図 2）
- ⑤ブレーカ端子ねじを標準締付トルク一覧表（P.1）の値で締付けてください。
- ⑥端子カバーおよびスペーサ（PH タイプのみ）を取付けてください。取付けの際、端子カバーのリップをブレーカの溝に確実に挿入してください。（図 3）
- ⑦標準締付トルク一覧表（P.1）の値で端子カバー取付ねじを締付けてください。（図 2・4）



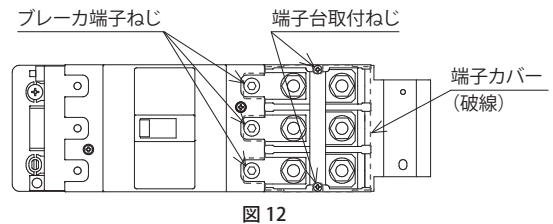
●400AF

- ①端子カバー取付ねじを外し、端子カバーを取外してください。（図 5）
- ②ブレーカの端子ねじおよび取付ねじを外します。（図 5・6）
ブレーカ取付ねじは四角ナットで締付けられていますので、取外しの際、四角ナットを紛失しないようにしてください。（図 10）
- ③組替えたいブレーカの端子ねじと主回路端子板をソケットレンチを使用して取外します。
取外した端子ねじおよび主回路端子板は不要です。（図 7）
- ④ブレーカ裏面のカット部（3カ所）をニッパーなどで切断し、ブレーカ本体から A 部を切離してください。
内部より取出した六角ナットは不要です。（図 8）
- ⑤ i plug のジョイントスタッドにブレーカ（六角ナットを取出した部分）を差込むように取付けてください。（図 9）
- ⑥ブレーカ取付ねじと四角ナットを標準締付トルク一覧表（P.1）の値で 4カ所締付けてください。（図 5・10）
- ⑦ブレーカ端子ねじを標準締付トルク一覧表（P.1）の値で締付けてください。
- ⑧端子カバーを取付けてください。取付けの際、端子カバーのリップをブレーカの溝に確実に挿入してください。（図 11）
- ⑨標準締付トルク一覧表（P.1）の値で端子カバー取付ねじ（2カ所）を締付けてください。（図 5）



●プラグインユニット付ブレーカ 端子台搭載の場合

- ①ブレーカの端子台側端子および端子台取付ねじを外し、端子台を取外してください。（図 12）
- ②プラグインユニット付ブレーカ 250AF 以下の場合と同様の手順でブレーカを取外しおよび取付けを行ってください。
- ③ブレーカの負荷側に端子台を取付け、端子台取付ねじ（2カ所）を標準締付トルク一覧表（P.1）の値で締付けてください。
- ④ブレーカの端子台側端子ねじを標準締付トルク（P.1）の値で締付けてください。



施工業者名	
TEL	施工年月日 年 月 日

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この説明書の内容は2013年5月現在のものです。

C905296001